

冬-2 冬を暖かく

1. 活動の目的

- ①冬を暖かく過ごすために、みんなの知恵を共有する。
- ②自分の国の冬の過ごし方を発表する。日本に来てからの違いを比べてみる。
- ③吹田の最低気温や地域の冬の生活情報を交換する。

2. 準備するもの (☆は教材ファイルにあるもの)

- ・ふせん、大きい紙
- ☆身体を温める食材のリスト

3. 活動の手順

発: 発展的活動 **留**: 留意点 **参**: 参考

活動1

- ・学習者が来日したときの季節を聞き、来日して初めての冬などを話題にする。
- ・日本で体験した冬について話し合う。
- ・学習者の住んでいたところの最低気温を聞く。吹田市の最低気温と比べる。
- ・自分の国の季節や気候について話し合う。
- ・何月から何月までが「春」なのか知らない学習者がいたら、日本の四季は大体何月から何月までを紹介する。

活動2

ふせん
大きい紙

- ①冬を暖かく過ごす方法を考えてもらって、各自アイデアをふせんに書いてもらう。1枚のふせんに一つのアイデアを書き、できるだけ多く書くように指示する。
- ②ボランティアが大きい紙にこのように書いておく

家にいる時	外に出る時	食べもの

活動3

身体を温める
食材リスト

- ③各自ふせんの内容について説明してもらおう。説明してから、大きい紙に分類して貼る。
 - ④重複するふせんを取り除いて、みんなでベストアイデア賞を決める。
 - ⑤ベストアイデア賞、または試してみたい方法を各自テキストに書く
- *クイズの答え：首、手首、足首
- ・できれば湯たんぽや入浴剤など実物を準備して、使ったことがあるかを聞く。
 - ・体を温める食べ物や料理について、みんなの意見を聞く。日本の冬によく食べる料理を紹介する。
 - ・冬のインナーや防寒着を話題にする。使い捨てカイロ、服に貼るカイロもおもしろいと思う。できれば防寒用のインナーやカイロの実物を準備しておくといい。

参 中国では、「冬令進補」という習慣があって、栄養価の高い薬膳鍋を食べる。

活動4

- ・冬が好きかどうかを聞いて、それぞれの理由を話してもらおう。雪に対するイメージ、思い出も話題にできる。
- ・冬を楽しめるイベント、冬だからこそできる活動を話してもらおう。日本で言えば冬のイルミネーション、スキー、温泉などが挙げられるが、海外でも色々あると思う。どこで、誰と、何をする活動なのか、その活動をやってどう思うかをきいてみよう。ボランティアも体験談を話して、学習者の感想を聞く。

